

令和7年度第2回金沢市交通まちづくり協議会 議事概要

【概要】

日時：令和8年3月2日（月） 14時00分～
場所：金沢市役所第一本庁舎7階全員協議会室

【次第】

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
報告第1号 令和7年度事業報告
報告第2号 令和7年度収支決算見込
報告第3号 令和8年度の金沢市の取組について（骨格予算）
議案第1号 令和8年度事業計画
議案第2号 令和8年度収支予算（案）
議案第3号 金沢市地域公共交通利便増進実施計画（公共交通サービス高度化）
の変更について
議案第4号 金沢市地域公共交通利便増進実施計画（地域運営交通）の変更について
4. 閉会

【会議の様子】



【議事記録】

1. 開会

2. 挨拶

挨拶（会長）

ご出席の関係者各位には、日頃から金沢市の交通政策にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

1月の大雪では市内の公共交通機関に影響が生じ、皆様におかれましても対応に苦慮さ

れたことと思う。本市の金沢ふらっとバスにおいても一時運休となったが、運行事業者様と連携し、迂回運行の対応もとりながら、市民の移動の足の速やかな確保に努めたところである。運行いただいている交通事業者の皆様にはこの場を借りて改めて御礼申し上げます。

さて、先週金曜日に金沢版モビリティハブがお披露目となり、西金沢駅、東金沢駅、森本駅の鉄道駅のほか、香林坊アトリオ前、金石のバス停においては、周辺案内図やバスの接近情報をデジタルサイネージにて分かりやすく表示するというので、多様な交通手段を結ぶ拠点として機能強化したところである。今後もモビリティハブのほか、金沢 MaaS やまちなり、連節バス等の取組を推進することで、これら交通手段とそれらをつなぐもの見える化を進め、市民の皆様により市内の交通がより良くなっているということを知っていただき、有機的に連携した交通ネットワークの構築を図ってまいりたい。

本日の会議では、令和8年度の取組等の報告をさせていただくほか、国庫補助の申請のため、本協議会にて計画書の変更をお諮りする必要がある、ご審議いただくこととなっている。ご出席の各位には、忌憚のないご意見を賜り、この会議が有意義なものとなることを願い、私からの挨拶とさせていただきます。

3. 議事

報告第1号 令和7年度事業報告

報告第2号 令和7年度収支決算見込

報告第3号 令和8年度の金沢市の取組について（骨格予算）

- 意見なし -

議案第1号 令和8年度事業計画

議案第2号 令和8年度収支予算（案）

（会長）

ただいまの議案に対してご意見・ご質問等はあるか。

（A委員）

金沢まちなか交通ガイドについて、デジタルに移行されること自体はよいことだと思うが、「のりまっし金沢」にアクセスしてもらうための広報が効果的かどうかをしっかりと検証した方がよい。「のりまっし金沢」という言葉も日本語だと魅力的に感じるが、海外の方に伝わりにくいと思っており、海外の方がアクセスしようと思ったときに新幹線を降りたあとの動線上に気づいてもらえるような仕掛けがあるのか、せっかく利用しやすくなってそこに辿り着けなければ効果的とはいえない。アプリをダウンロードするのも大変なので、その手間を考えてもダウンロードしてもらえるようなものにするのも重要であると思うので、印刷を削減した分、効果的な運用の手法を検討してもらえるとよい。

(事務局)

ご意見有難く思う。おっしゃる通り、海外の方がアクセスできなければ意味がないので、観光等の分野とも連携して、検討してまいりたい。「のりまっし金沢」については、会員数、ダウンロード数ともに順調に推移しており、会員数は令和3年度に約7,300だったものが令和7年度には約130,000、ダウンロード数については、令和4年度に約78,000だったものが現在は約198,500となっており、引き続き、周知を図ってまいりたい。

(会長)

他にご意見・ご質問等はあるか。特にご意見がないようなので、ご承認頂ける方は拍手で承認頂きたい。

一同拍手にて承認

議案第3号 金沢市地域公共交通利便増進実施計画（公共交通サービス高度化）の変更について

(会長)

ただいまの議案に対してご意見・ご質問等はあるか。

(B委員)

金沢版モビリティハブについて、デジタルサイネージの設置により見やすくなったと思う。一方、海外の方はWi-Fiを繋いでスマホで情報を見る方が便利な面があると思うが、無料Wi-Fiの手続きも手間であり、海外の方から不便さに関する意見やモビリティハブで接続できるようにしてほしいという要望等はないか。

また、「金沢版」とあるが、他の地域との違いはどのような点にあるのか。

連節バスについて、今回、路線を追加するということが、それは平和町の路線とは別に新たな路線として加えるという意味か、それとも平和町から繋がるという意味か。

平和町線の走行環境を整備しているということだが、今年度中に整備が終わるのかどうか、また、どれくらいの頻度で実証運行される予定なのか教えていただきたい。

(事務局)

金沢版モビリティハブの質問について、スマホに関しては、「のりまっし金沢」でも新しいバスロケーションシステムを確認できるので、ぜひ活用いただきたいと思っている。モビリティハブの運用は先週始まったばかりであり、Wi-Fi等の意見はこれから出てくるかもしれないので、今後、検討してまいりたい。

「金沢版」について、全国的にモビリティハブとして整備している事例はまだ多くはないが、既存の機能、すでにあるものを活かすという点を重視している。一から新しいものを全て整備するのではなく、既存のものを活かしながら足りない機能を補完していく、情報発信していくというものである。

連節バスについて、駅西方面の路線をお示ししたが、こちらは金沢駅出発を想定している

ものであり、平和町から連なってという意味ではない。

走行環境については、令和9年度の実証運行に向けて整備を進めていくものであり、運行頻度については北陸鉄道様と調整しながら検討してまいりたい。

(C委員)

連節バスについて、駅西線に関しては、警察としても安全性の確保という点で、金沢西高校、市立工業高校の前の道路が狭いので、これから金沢市と協議してまいりたい。

(D委員)

連節バスについて、平和町線、駅西線ともに、現行の路線バスを単に連節バスに置き換えるということになるのか。色々な路線が広小路ー金沢駅間を走っていると思うが、例えば、ピストン輸送にして、片町・香林坊で止めてしまうという方法もある。その場合、運転士は減らせる一方で、乗継が必要となり、また乗車料金もその分かかるとい課題もあるが、将来的な方向性や考えがあればお伺いしたい。

(事務局)

現時点では置き換えを想定している。ご意見に関しては、将来的な可能性はあると思うが、実証運行を実施したうえで、乗継等の様々な課題を踏まえ、北陸鉄道様と検討してまいりたい。

(会長)

他にご意見・ご質問等はあるか。特にご意見がないようなので、ご承認頂ける方は拍手で承認頂きたい。

一同拍手にて承認

議案第4号 金沢市地域公共交通利便増進実施計画（地域運営交通）の変更について

(会長)

ただいまの議案に対してご意見・ご質問等はあるか。

(A委員)

P42のチョイソコと加越能バスとの乗継について、利用できる加越能バスの路線は2本のみで、金沢駅西口に11:15着でも、12:10金沢駅西口発のものしか使えないという状況になっていて、活動の範囲を広げるとい意味では1時間しか滞在できないと利用が難しいと思うが、その点はいかがか。

(事務局)

チョイソコは北部6地区で共同運行しており、各地区より行先に関して様々な意見はあ

るが、今回、医王山地区の方でこれ以上運行の範囲を広げると、その分他の地区の方が利用できなくなるので、限られたリソースのなかで、全体を考えて調整した結果、このような運用となった次第である。また、金沢駅まで向かうことはあまり想定しておらず、医王山地区の方からは、田上方面に行きたいという声が多くあったので、イオンのある若松での降車を想定しており、買い物は問題ないと考えている。

(会長)

ただいまの議案に対してご意見・ご質問等はあるか。特にご意見がないようなので、ご承認頂ける方は拍手で承認頂きたい。

一同拍手にて承認

その他

(E委員)

報告事項に戻るが、カーフリーデーの開催に関して、毎年実施していると思うが、これによりマイカーから公共交通への転換の機運が高まっているのか。マンネリ化しているように思うし、実施した結果を検証しているのか、お伺いしたい。

(事務局)

実際にどれだけの数の転換があったかを計測するのは難しいが、毎日マイカーを利用している方が月に1回でも、あるいは何かの機会でも公共交通を利用してみようかなと思っただけでも意義のあるものだと考えており、様々な取組をしていることを少しでも市民の方に知ってもらい、広く理解していただく機会として大事な場であると捉えている。

(B委員)

先ほどのカーフリーデーのマンネリ化の指摘については、私もそのとおりだと思っている。環境関係の委員も務めているが、以前、連節バスの試乗会というものがあった。連節バスがいつ納車されるのかは分からないが、早めに納車されるのであれば、例えば、試乗会をやってみるなど、連節バスの事前PRにもなると思うので、市民の理解が深まるようなことを検討いただければと思う。

(事務局)

連節バスの導入のタイミングを考えると、次のカーフリーデーでは難しいと思うが、連節バスはシンボリックなものになると思うので、広く市民の方々に周知していけるようにその方法等について検討してまいりたい。

(F委員)

日頃よりバス・鉄道をご利用いただき感謝申し上げます。また、モビリティハブ整備に関し

て、金沢市の協力に感謝申し上げます。この度、42年ぶりにバスロケーションシステムを更新させていただいた。まずは金沢駅東口から始まり、徐々に市内の方に3年計画で展開していきたいと考えている。現在設置されている既存のバスロケーションシステムを全てスマートバス停に置き換えることはできないが、現在も弊社ホームページや「のりまっし金沢」にて、乗車したいバス停を検索すると、バスの走行位置、何分くらいで着くのかを確認することができ、今後、各バス停の時刻表に二次元コードを掲載していく予定である。順次、皆様にご利用しやすい、分かりやすいものを構築していきたいと思っているので、引き続き、よろしくお願いいたします。

(G 委員)

交通系 IC カード (10 カード) はやはり使えないのか。

(F 委員)

交通系 IC カード (10 カード) は使えないが、クレジットカード決済を導入し、その利用がどんどん増えている状況である。

(H 委員)

クレジットカードが利用できるようになり、大変便利になったと感じている。ただ、乗車時と降車時に2回タッチしなければならないことを知らず、決済できなかったケースもあるので、その点の周知は必要だと思う。

(F 委員)

都会等の均一区間の地域であれば、前乗り後ろ降りという方法で1回のタッチでも可能だが、地方のバス事業者としては難しいのが現状である。

(G 委員)

片町など繁華街のバス停において、アルバイトの学生が夜に帰る際にバスがなく帰りづらいという現状があり、働き方改革という面もあると思うが、夜の時間帯にバスがあるとよいと思っている。

(F 委員)

ごもっともなご意見だと思っているが、働き方改革ということで、現在、翌朝の業務まで9時間のインターバルが必要であり、今後、11時間という話も出てくる。悩ましいことではあるが、深夜便をとということになると朝の通勤・通学時間帯の運行ができなくなる。運転士不足という大きな課題もあり、大変難しい状況であることはご理解いただきたい。

(会長)

バスの運転士不足、運転士の働き方改革というなかで、バス事業者だけでなく金沢市としても運転士を増やすためにどのようなことができるのか、真剣に議論しているところであ

る。この件については、市としても大変危惧しており、学生がまちなかに出にくいという現状について、今後どうしていけばよいか、喫緊の課題であると認識しているので、少し時間を頂いて、バス事業者と一緒に検討してまいりたい。

4. 閉会